

『目 標』

- ◆住み良いまちづくり
- ◆環境の浄化運動
- ◆あいさつと親切運動

《編集・発行》

西根地区社会福祉協議会

にしね福祉



福祉のまちづくりを めざして

西根地区社会福祉協議会
会 長 小 山 三 枝 子

常日頃、皆様方には西根地区社会福祉協議会の事業運営に對しまして、温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。コロナウイルス感染拡大から早三年、基本的な感染防止対策を継続しつつ、一日一日を元気に生きていきたいと思うこの頃です。

さて、今年度は、可能な限り通常に近づけた形で、次のような活動をしてきました。

- ・ 九月 研修視察 山形市社会福祉協議会
我が事・丸ごと地域づくり推進事業について
 - ・ 十月 一人暮らし高齢者ふれあいの集い 日田公民館
「今、懐かしのレコードコンサート」
 - ・ 十一月 歳末助け合い運動 配分委員会
 - ・ 十二月 寒河江市社会福祉協議会との懇談会
文化センター
 - ・ 二月 「これからの地域づくり」研修会
ハートフルセンター
講師 池田 昌弘 氏
(全国コミュニティライフサポートセンター)
 - ・ 六月と三月 福祉だより発行
 - ・ 各町内会で、三者懇談会(町内会長、民生委員・児童委員、福祉推進委員)の実施 情報交換と共通認識の共有
- 一年の活動を振り返ってみると、改めて福祉のまちづくりの大切さが浮き彫りになったと感じています。特に、山

形市社会福祉協議会を訪問して、「我が事・丸ごと地域づくり事業」の説明をお聞きし、大きな刺激を受けました。この事業は、地域共生社会をめざして、平成二十九年から実施しており、各地区社協が事業主体となつて、現在二十二地区で実施しているとのことでした。

- ・ 地域住民が主体的に生活課題を把握し、解決を試みる。
- ・ 生活課題に関する相談を包括的に受け止める体制をつくる。
- ・ 活動拠点は地域の中につくり、住民参加の交流や研修を実施する。

大まかな全体像の説明を受けた後、南山形地区社会福祉協議会の会長横沢正巳さんより、具体的な実践例をお聞きしました。事業の周知を図るために、丁寧な説明を実施団体や関連団体、地区民に対して行い、福祉だよりや回覧板も活用したとのことでした。そして、「南山形地区福祉をつむぐ会」を設置して、ゆりかごから墓場まで多世帯多分野にわたり、活動を進めていきました。

これらの研修内容を生かして、西根地区においても、一人ひとりが住みやすい福祉のまちをめざしていかなければならないという思いを強くしたところです。そのため、まずは隣近所のあいさつや声の掛け合いを広げて、日常的な結びつきを構築し、継続していきたいものです。互助の精神から福祉は始まるのでないでしょうか。

